

# 令和2年度 学校評価結果公表シート

## 1. 本園の教育目標

- ☆よく考え、よくみつめる、創造性のある子ども
  - ☆自主的で、何でも自分でしようとする子ども
  - ☆読むこと書くこと数に興味をもたせる辛抱強くやりとげる子ども
  - ☆思いやりがあり、心情豊かで、感謝の気持ちをもった子ども
  - ☆協力してみんなと楽しく遊べる子ども
  - ☆健康で生き生きした子ども
  - ☆感情の安定した子ども
- ひとり一人の子どもを大切にきめ細かい教育をする

## 2. 本年度重点的に取り組む目標計画

- ① 新型コロナウイルス感染症対策として「密閉」「密集」「密接」の三密を回避する。
- ② 手洗いの指導及び咳エチケットなど基本的な対策を継続し、園児及び教職員の感染リスクを軽減していく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	取り組み状況	評価	
①	換気の悪い密閉密室をなくし換気の徹底を行った。 多人数が集まる密集場所をなくし、身体的距離の確保を行った。 間近での会話や発声をする密接場面への対応を行った。	窓を対面方向で開け風の通りをよくして換気を徹底することができた。 机を一人一台使うことによって密集をさけ距離の確保をとることができた  できるだけ密接しないように心がけ会話や発声するときにはマスクをつけるよう気をつけた。	B
②	出入りするときは、必ず手洗い、うがい、手指の消毒をした。 人との会話はマスクを着用した。 感染症予防の紙芝居を用い感染症予防についての理解を深めるよう指導することができた。	教室に入る前には必ず手洗い、うがいをするように。また、教室に入るときには手指の消毒をするように習慣づけることができた。 会話をするときにはマスクを着用することもできるようになった。 感染症予防の紙芝居を見ることによって感染症に対する意識を高めることができた。	A

達成度の表示方法

【A】：充分達成されている

【B】：達成されている

【C】：取り組まれているが成果が充分ではない

【D】：取り組みが不十分である

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルス感染症対策として「密閉」「密集」「密接」の三密を回避するにはどうすればよいかについて、色々と工夫をして対策をしていくことによって今まで気にしていなかったことに気づくことができ、感染症に対する意識を高めることができた。

また、教室に入る前の手洗いやうがい、手指の消毒、会話をするときにはマスク着用することも習慣づけることができた。

感染症予防の紙芝居を見ることにより、感染症への関心をより一層もつことができた。

#### 5. 今後取り組むべき課題（令和2年度の重点目標）

課 題	具体的な取り組み方法
災害対策を再度見直し、子どもの安全を一層確保できるようにする。 日常生活の中で遊びを通して命の大切さを学ぶとともに防災に関する意識や態度を身につけていくようにする。	突発的に避難訓練を行い、いかなる状況下でも迅速適切に園児たちを誘導できるようにする。 教員の指示に従い、園児たちが素早く落ち着いて行動できるようにする。 視覚教材を利用し、安全意識を高めていけるようにする。
新型コロナウイルス感染症の影響による保育の進め方について考えていく。	今までと同じような保育ができなくなるため、教職員間で話し合い、子どもの安全を確保した上で新しい環境にも柔軟に対応し保育計画をより具体化し、無理のない時間配分で保育を進めていけるように取り組んでいく。

#### 6. 学校関係者評価委員会の意見

長引く新型コロナウイルス感染症が拡がる中で子どもたちは幼稚園で正しい手洗いのやり方を教わり、家でもしっかり手洗い・うがいをできる姿がみられるようになり成長を感じました。

外出するときには必ずマスクを着けることや手をアルコールで消毒するなど園で実施されていることを日常でも自然に行えるようになり親として安心することができています。

机も一人一台とする園の対策により距離を保つことができていて、子どもたちの新型コロナウイルス感染症に対する意識が自然と身につけているように感じています

#### 学校評価関係者評価委員会名簿

下山 明美	保護者
小林 理絵	保護者
吉田美加	保護者

#### 7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。